

葛藤を抱えながら新しい生き方をともに創る

その想いが、静かに発露する素顔を描く

# MY PACE + MY SPACE

ひきこもりソーシャルワーク

[ドキュメンタリー／2025年／58分]

2026年 7月11日(土) 開演: 14:00 (13:30開場)

場所: あいあいセンター6階 みらいホール

参加費: 無料 (定員100名になり次第締め切り) 申し込み 6/9(火)～

対象: 和歌山市にお住まいの方

14:00～ 映画上映開始

15:00～ 舞台挨拶 麦の郷 野中康寛さん

15:30～16:00 ファミサポ会員交流会

申し込み・問い合わせ先 和歌山市ファミリー・サポート・センター

TEL 073-424-3770



#### 【あらすじ】

開設してから10年を超えた古民家カフェ『創 HAJIME-CAFE』は、毎週の木・金・土曜に営業。そこで働くメンバーは、厨房での仕込みや調理、配膳の接客など、運営を手分けして行っている。それ以外の時には、「学び」や「遊び」の取組みを行ないゲームやキャンプ、しゃべくろ会・女子会などの交流も…夏まつりへの出店参加、年末の餅つき大会などで地域との交流もおこなう。

一方、スタッフはカフェ運営と並行して、生きづらさを抱える当事者や家族の相談にも対応し、また、学校・医療・行政・関係機関などと連携してケース検討や情報の発信・提供を進める。

古民家という独特な雰囲気——ゆっくりとした時間が流れ、ホッとひと息つける「居場所」で、メンバーは自分のペースで様々な活動に参加し、協同の取組みのプロセスを通して、お互いの違いや共通点を見つけ、新たな自分との出会い、新たな生き方（活き方）を紡ぎ出す。

## 自分らしく生きること！！

### 世間の「普通」じゃなくてもイイんだよ！！

#### 【かいせつ】

「不登校」の児童生徒が2023年度には過去最高の41万人超となり（文部科学省の調査）、その自殺者数も過去最高2024年527人という深刻な数字は、若い世代をとりまく「生きづらさ」が強まっていることの反映であろう。そして、「ひきこもり」状態にある人は全国で推計146万人（内閣府の調査/2023年）、約50人に1人が「ひきこもり」となり、その期間も平均7～10年と長くなっているとの深刻な分析も出されている。学業の成績や成果が問われ、就職・結婚・子育てなどの“人生のステップ”においても、『普通』が当然とされる世間の眼は、少なくない人々の人生を“むずかしいもの”へと追い込んでいくのではないだろうか…。

自分を肯定できない不安を抱え、「自分探し」に迷っていたり、「自分の価値」を見いだせないと焦っている人々が増えている。そんな時代に、築100年をこえる古民家カフェで働く人々の中にカメラが入り各々が抱える想いを聞き出していく。自分らしく過ごせる「居場所」を見つけて、おだやかな日常生活を取り戻していく様子を描き出すドキュメンタリーである。



自主上映会等のお問い合わせは、社会福祉法人一麦会 麦の郷ハートフルハウス創まで

【出演】 創 HAJIME-CAFE の皆さん、山本耕平（社会福祉法人一麦会理事長）、岸本周平（前和歌山県知事）

【協力】 社会福祉法人一麦会（麦の郷）、ハートフルハウス創、megluck（めぐりゆっく）、丸浅旅館（紀の川市・粉河）

【撮影協力】 IL MENTO（岩出市／イ列アンレストラン）、全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in 関西（JYC 関西 2024 実行委員会）

【撮影】 小原信之 古賀陽一 【ナレーション】 古賀陽一

【製作】 有限会社 イメージ・サテライト 【共同製作】 一般社団法人 障害者映像文化研究所

監督・編集 古賀陽一 プロデューサー 中橋真紀人

【提供】イメージ・サテライト 102-0074 千代田区九段南 4-3-3-606 imagesatellite@hotmail.com